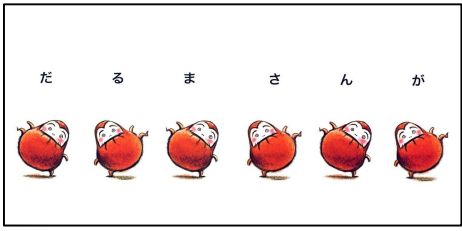

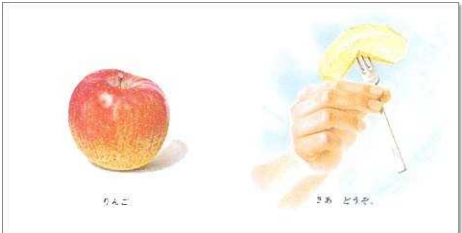
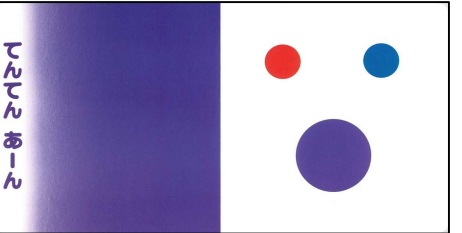

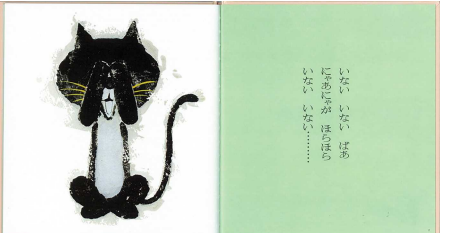


十和田市 はじめての絵本プレゼント事業



十和田市では、絵本の読み聞かせを通してお子さんとこころ触れ合う時間を大切に過ごしていただきたいと願って絵本を贈呈しています。すこやかこども家庭センターの妊産婦指導員が赤ちゃん訪問時にお選びいただいた絵本をお持ちします。5冊の中から1冊選び、出生時アンケートに絵本番号を入力してください。

<p>1 「だるまさんが」 かがくい ひろし/作 ブロンズ新社</p> 	<p>かがくい ひろし/作 ブロンズ新社</p>  <p>◆出版社からの内容紹介 だ・る・ま・さ・ん・が……ページをめくって、あらら！びっくり！大わらい！声にだして読んでたのしい、見てたのしい、とってもキュートなファーストブックです。</p>	<p>おすすめポイント</p> <p>◇紙芝居倶楽部とわだ 絵本を見ながら、歌ったり、体を一緒に揺らして楽しんでほしいです。</p> <p>◇語りの会「こま草」 赤ちゃんから大人まで楽しめる絵本です。家族みんなでリズムに合わせて楽しめます。お父さんも喜んで読み聞かせてくれるでしょう!!保育園でも大人気の絵本です。</p>
<p>2 「がたんごとん がたんごとん」 安西 水丸/作 福音館書店</p> 	<p>安西 水丸/作 福音館書店</p>  <p>◆出版社からの内容紹介 走る汽車にのせてもらうのは、コップとスプーン、哺乳ビン、りんごとバナナ。それからねずみやねこまでのりこみます。どれもあかちゃんなじみのものばかりです。</p>	<p>おすすめポイント</p> <p>◇0歳からのおはなしかい おはなしサークルちゅんちゅん 「がたんごとんがたんごとん」と繰り返されることばに「のせてくださーい」とやってきたのはだ〜れかな？鮮やかな「絵」とリズムカルな「音」で楽しめるはじまりえほん。赤ちゃんが笑顔になれる「魔法の一冊」をどうぞ。</p>
<p>3 「くだもの」 平山 和子/作 福音館書店</p> 	<p>平山 和子/作 福音館書店</p>  <p>◆出版社からの内容紹介 すいか、もも、ぶどう、なし、りんごなど、日常子どもたちが食べるくだものを、まるで実物かと思わせるほど鮮やかに描いた、いわば果物の画集。</p>	<p>おすすめポイント</p> <p>◇お話し会十和田 スイカ、もも、ブドウ…ページをめくるとツヤツヤ光るくだものたち。「さあ どうぞ」…おもてなしのことばに思わず手が伸びる。赤ちゃんにも伝わる『アートな世界観』を親子でお楽しみあれ！</p>
<p>4 「まるてんいろてん」 中辻 悦子/作 福音館書店</p> 	<p>中辻 悦子/作 福音館書店</p>  <p>◆出版社からの内容紹介 あか、あお、きいろ……。色とりどりのまるが、ページをめくるとに大きくなったり、小さくなったり。画面いっぱい広がる“まるの世界”を存分にお楽しみください。</p>	<p>おすすめポイント</p> <p>◇親子読書会「わっこの会」 原色に近い暖かい色やリズムカルに変化する丸の数や大きさは赤ちゃんの五感をくすぐってくれます。カラフルな丸をさわったりトントンしたりして赤ちゃんと一緒に楽しめる本です。ゆっくりページをめくりながら親子で会話をふくらませてみるのもいいですね。</p>
<p>5 「いない いない ばあ」 松谷 みよ子/文 瀬川 康夫/絵 童心社</p> 	<p>松谷 みよ子/文 瀬川 康夫/絵 童心社</p>  <p>◆出版社からの内容紹介 1967年の刊行から、半世紀あまり。2020年には日本の絵本で初めて700万部を突破し、現在735万部を超えるロングセラー絵本となっています。</p>	<p>おすすめポイント</p> <p>◇おはなしらら♪らんど 長いロングセラー本。今も昔も色あせない愛される絵本。はじめての赤ちゃんにはこの絵本をおすすめします。</p>

十和田市民図書館で絵本の読み聞かせ活動をされている団体の皆様から0歳の赤ちゃんにおすすめの絵本として選んでいただきました。

■事業に関するお問合せ 十和田市すこやかこども家庭センター 51-6797/51-6792